

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育目標の具現化を目指し、「共に育つ」子ども、教師、保護者、地域を常に念頭においた学校経営を行い、一人一人を大切にすることを実践する。</li> <li>○様々な研究や研修において、必要に応じて講師を招聘し、教職員の授業力や教師力を高め、教育に意欲と使命感をもって取り組むチーム「六つ西」を作ります。</li> <li>○基礎・基本の確実な定着を図るとともに、友達の意見や考えを参考にして、自分らしさを生かして活動したり表現したりすることのできる子どもたちを育てます。</li> <li>○児童指導・特別支援教育を図るとともに、小中連携を深めながら、小中一貫教育を進めていきます。</li> </ul>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「キラキラ活動」(たてわり活動)を通して、異学年同士のつながりや、集団活動を重視することを大切にします。</li> <li>② 道徳の時間の充実、人権週間の取り組みを通して、自分も相手も大切にできる子を育てていきます。</li> <li>③ 音楽活動(特設音楽クラブ)・読書活動を充実させ、児童一人ひとりの感性を育てます。</li> </ul>
担当 人権・児童指導	

## 2 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」に関わる課題)

- 自己認識が甘く、自分の思いを優先しようとするあまり、他者と上手に関わり合うことに課題がある。
- 問題を見つけ解決しようとしたり自分で向上しようとしたり、困難なことに立ち向かおうとしたりする心情や態度に弱さがある。
- 自他のがんばりやよさを認め合う心情や、そこから育つ自己肯定感が低い。
- 友達と楽しく学校生活を送りたいという思いは強いが、集団でやりきったという達成感を味わう経験が少ない。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・子どもの実態から問題意識を捉え、学習過程の各段階の役割を正しく理解することに努め、道徳の時間の指導力向上を目指す。
- ・道徳教育全体計画や別葉をもとに、本校の教育活動全体を通して行う道徳教育と道徳の時間との関連を図り、実践活動に生かして指導を行うとともに、その見直しを行い改善を図る。
- ・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。
- ・児童一人ひとりが、道徳的価値に含まれるねらいに沿って自己を見つめ、道徳的価値を発達段階に即して自己の生き方を深め、主体的に道徳的実践力を身に付けていくようにする。

**【項目 自分づくり教育】**

- ・異学年同士が交流する活動を通して、発達段階に応じたねらいを定めるとともに、高学年としてのリーダー性を培う。
- ・各行事や文化活動など、豊かな体験活動などを通して、社会とのつながりの意識を育む。
- ・キャリアパスポートの取組を通じて、自分を見つめ系統的に自分づくりを行えるようにする。

**【項目 豊かな感性や情操の育成】**

- ・読書活動を充実させ、豊かな情操を養う。(朝活動、図書室の活用)
- ・図工作品を中心として児童の作品を校内に展示し、学習環境を整えて、豊かな感性を養う。

**【項目 確かな人権感覚・意識の育成】**

- ・各学年の人権重点的取り組みに基づいて、児童一人ひとりが人権への意識を高められるようにする。
- ・人権週間の取り組みを通して、相手を認めることや、自己肯定感を高めることを大切にしていく。